

## 授業概要

「税」はとっつきにくいかもしれませんが、でも、皆さんは既に税を納めています。例えば本を買ったときに代金と一緒に払う消費税です。そして、就職して給与を貰うようになると、所得税を納めます。また、起業してその会社が儲かると、会社は法人税を納めます。相続すれば相続税、自動車を持てば自動車税と、実は身近で重要なものが「税」です。

一方で、「税」は、我々の社会生活に必要なもの、例えば医療、福祉などを支える重要な財源です。さらに「税」の知識を身に付けることは、税理士を目指す方はもちろん、会社に就職する方や起業する方にとっても大変役に立つのです。

このように、現代社会に欠かせない「税」について、皆が納得して「税」を納めるには、どのように「税」の決まりを作るべきか、という「租税法」という学問について、皆さんに興味を持ってもらい、皆さんとともに考え、自由に議論できる講義をします。

## 授業計画

|        |  |
|--------|--|
| 第 1 回  | 租税の意義（なぜ納めるのか、なぜ多くの種類があるのか、そのゆくえは）         |
| 第 2 回  | 租税は誰が決めるのか（租税法律主義とはなにか、日本国憲法との関係、国民主権）     |
| 第 3 回  | 租税を公平に負担するとは（租税公平主義とはなにか、公平って案外難しい）        |
| 第 4 回  | 外国に居住しても日本の租税を納める義務はあるか（国の課税権と国際的二重課税の問題）  |
| 第 5 回  | 租税法を定める難しさ（節税、脱税、租税回避はどのように区別するのだろうか）      |
| 第 6 回  | 租税は誰が計算して誰が納めるのか（申告納税制度と源泉徴収、直接税と間接税）      |
| 第 7 回  | 個人の所得とはなにか（所得税における所得概念、所得の帰属）              |
| 第 8 回  | 所得税の仕組みを知ろう（所得税の構造、他の国に比べた日本の所得税の特徴）       |
| 第 9 回  | 所得の分類は難しい①（勤労性所得と資産性所得）                    |
| 第 10 回 | 所得の分類は難しい②（事業所得と雑所得）                       |
| 第 11 回 | 法人税の仕組みを知ろう（法人税法の構造、企業会計との関係）              |
| 第 12 回 | 法人の所得とはなにか（法人税における益金と損金とは）                 |
| 第 13 回 | 消費税、相続税の仕組みを知ろう（一番身近な税と、いつか経験する税）          |
| 第 14 回 | 国際税務とはなにか（貿易や海外赴任に必要な知識、条約の役割、国際的租税回避の問題）  |
| 第 15 回 | 裁判では、租税についてどのようなことが争われるのか（租税法の裁判例をながめてみよう） |
| 第 16 回 | 期末試験                                       |

## 到達目標

1. 現代社会における租税法の重要性を理解することができる。
2. 租税法が今後解決すべき課題があることを理解できる。
3. 所得税、法人税、消費税、相続税の基礎知識を身に付けることができる。

## 履修上の注意

まずは租税法に興味を持ってもらうことが重要です。  
そのため、授業では皆さんとの対話を積極的に試みますので、闊達な参加を期待します。

## 予習・復習

予習なしで理解いただける授業にしますので予習は不要ですが、復習は、授業時に配布するレジュメにて行い、内容の理解を深めてください。

## 評価方法

授業への積極的な参加と貢献が40%、学期末試験60%

## テキスト

特に指定しませんが、入門書から入っていくことで、租税法への興味が湧くと思います。例えば、佐藤英明『ブレップ租税法[第4版]』弘文堂、三木義一『よくわかる税法入門[第18版]』（2024 有斐閣）等。